

【SDGs その3】持続可能な未来をつくる子どもたち

みなさん、今年のファンクラブ通信2月号と3月号でSDGsについてお伝えしましたが、覚えていますか？ **持続可能な開発目標** (Sustainable Development Goals) のことで、**エスディジェーズ**と読むのでしたね。

これは、2015年に国連が掲げた17の目標(貧困、福祉、教育、まちづくり等)で、2030年までに達成を目指している**世界共通の目標**でしたね。

さて、先月のトンボサミット横浜大会の分科会で、**横浜市立南本宿小学校がSDGsの実践事例を報告**しました。驚いたことに、この小学校では**2002年 (!!) から持続可能な開発のための教育を実践してきた**というのです。すなわち、SDGs達成の担い手を育てています。

その結果、例えば '**SDGsといえば自然を守ること**と思っていた' から '**どの目標も必要で、バランスも大事**' というようなとらえ方が育まれてきたとのことでした。

実践報告を聞いて、**「持続可能な未来をつくる子どもたち」**が確実に育っていることに希望を感じました。今後は、**子どもたちを応援する立ち位置**で益々活動したいと思います。(銀)



【開催案内】トンボとい大作戦 報告会・表彰式



トンボ本調査・トンボとい大作戦の報告会と、スタンフ
ラリー表彰式などが、つぎの予定で開催されます。

今年のトンボといで何がわかったのか、**トンボ博士がお話**してくれますよ～。

日時: 11月2日(土) 14:00～16:00
(13:30 開場)

会場: JFEエンジニアリングシーフォール
(JR鶴見線 弁天橋駅下車 すぐ駅前)

主催: トンボはドコまで飛ぶかフォーラム

駐車場、駐輪場はございませんので電車をご利用ください。

緊急特集 アメリカザリガニからヤゴを救おう！(その3) ～ 敵を知れば 百戦危うからず ～

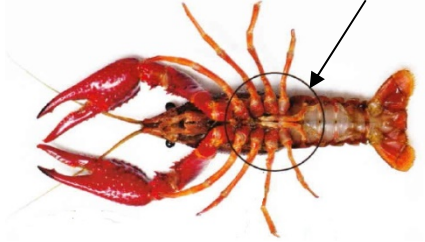
6月と7月にみんなでがんばった捕獲のおかげか、最近ではJFEトンボみちのアメリカザリガニは数が減ったようで、なかなか捕獲できなくなりました。しかし、**捕獲が難しい小さな稚ザリガニはまだたくさんいる**と思われるので、安心はできません。

さて今月号では、オスとメスの見分け方についてお伝えします。

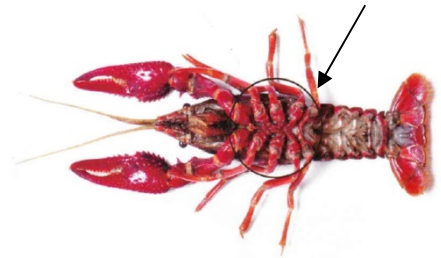
●アメリカザリガニのオスとメスの違い

いちばんの違いは、腹の部分にある生殖器です。写真のように、その形で簡単に見分けられます。ハサミの大きさはオスのほうがメスより大きいのですが、個体差があるので、腹の部分を見て判断するほうが確実です。(銀) (参考資料:「ザリガニ飼育ノート」著者:下釜豊久、発行:誠文堂新光社)

アメリカザリガニのオス



アメリカザリガニのメス



(シリーズ) トンボみちの仲間たち

9月28日(土)のファンクラブ活動の様子です。(撮影:山田さん)



活動予定 ※雨天は1週間延期
 今月:10月26日(土) 9時～11時
 来月:11月23日(土) 9時～11時
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!
 公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2019年10月号
 発行日:2019年10月23日
 発行者:トンボみちファンクラブ
 連絡先:ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です



京浜の森ロゴマーク